

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 29 年 2 月 22 日〔水〕 18:00～
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 6 名 出席委員数 3 名
出席委員の氏名 楠田 哲／和泉 豊一／星村 文乃／徳山 貴広／玉野 梨沙／迫田 真吾
欠席委員の氏名 藤井 琢磨
放送事業者側出席者 麓 憲吾／丸田 泰史／渡 陽子／
- 4 議題
審議(放送ディ学！について)
- 5 議事の概要
(1) 審議(放送ディ学！)
(2) その他
- 6 審議内容
(1) 番組内容の審議(放送ディ学！について)

丸田:第 60 回番組放送審議会始めさせて頂きたいと思います。よろしくお願い致します。

今日は藤井先生の方が、講演依頼が入っていると言うことで、今講演会場にいらっしゃるものですから、今日は最後ですが、残念ながら参加できません。と言うことです。

ご意見の方、頂いておりますので、後ほど、また副委員長の方からご紹介させて頂きたいと思います。

また、奄美 FM の方から、代表の麓始め、丸田、渡、以上、3人で参加させて頂きます。

それでは今期の最後60回目の放送番組審議会の方の進行を副委員長の楠田さん、宜しくお願い致します。

楠田:はい。皆さん、こんばんは。宜しくお願い致します。本当に、早いもので、2月22日であつという間に年度末と言う事なんですけど、いよいよこの放送番組審議会もこのメンバーで最後の会となりました、どうぞ宜しくお願いします。今回は放送ディ学！国語島口編と言う事で、生元先生の島口のお話だったんですけど、その感想を皆様から頂ければと思います。

藤井さんから預かっているんですけど、これ言っちゃうと、皆喋れなくなっちゃうと思うので(笑)

これ最後にするので、私からいきます。僕は簡単にまとめます。僕は今まで色んなところで、島口の話とか、聞いてたようで、聞いてなかったんだなと思って。初めてこう言うラジオの番組を通して耳を傾けてたんですけど、本当に目から鱗って言うような内容で、「あ」と「う」と「い」の発音だけの事とか、裏切りの事とか、後なんかありましたよね？色々あったんですよ。とにかく、なるほど、なるほど。しきりで、すっごく濃厚で、第2、第3、聴きたいなあと思ったところでした。ただ、これはIターンの人達にはまず、わからない内容だろうかと、生元先生の喋っている内容は。そこも若干、ありながらも、でも素晴らしい内容だったと思います。

後、丸田君が「ヨネの星やきよらさや」って彼女に言うって、2回か、3回言ってたから、へー、とか思って(笑)

いいなあって(笑)

丸田:まだ言えてません。(笑)

楠田:で、その丸田君の、その番組での姿勢って言うか、本当に島口が、島ゆむたが好きで、楽しく学んでいる様子が

伝わってきて、良かったと思いました。はい。以上です。

迫田: 私もすごく、楽しく聞けたなって言うのがあって、やっぱり、雰囲気作りが伝わってきたんですよ。楽しい雰囲気。なんで、今回のが一番聴きやすいなあと思っていて、なんか仕事しながらでも、「むい」とか、笑っちゃうととか、2、3回ぐらい聴きました。なんか、自分も方言ってなかなか本確的な使わないんですけど、北と南で島唄も違うって言いますが、方言からやっぱ違うって言うのが関係しているんじゃないか、とか。よく使う「やあ」とか言ってたけど、本当は「いやあ」とか、「わあ」だと豚だよ。とか、失礼な事言っているんじゃないかとかね。後は最後に「んぶくりありよーた」って言って、すごく勉強になる言葉で、すごく聞いて良かったなと思いました。長く続けて欲しいなって、この方式は。やっぱ唄っている人がやっているのだから、言葉を説明して、唄って、それに日頃使えるようなネタとかやって、今日は猫の日なんで「マヤ」とか、覚えやすかったんですけど。なんで、すごくこの番組は、悪い所はないんじゃないかって感じで、長く続けて欲しいなって思いました。

一同: ありがとうございます。

楠田: 今日猫の日なんですか？

迫田: みたいですよ。本当は竹島の日らしいですけど。

一同: へ～

迫田: 222。にゃ～、にゃ～、にゃ～。(笑)

星村: 私もあつという間で。これ40分あったんですかね？本当に半分ぐらいの感じで聴きました。で、英語の基礎講座って感じで、私もつつい「むい」とか、参加して聞いてたので、なんかそういう意味でも、良かったのかなあと。いいんじゃないかなあと思いました。「んぶくりありよーた」って母親が使うんですけど、宇検阿室の出身なんですね。でも赤尾木に嫁いで来て、そこの自分の主人のとーちゃんのかーちゃんが使ってたって言うんですけど、ラジオで島はそれぞれ(方言が)違うって話があったじゃないですか？実は繋がっているのかなって、個人的に親のルーツを探りながら聴きました。すごく面白いので、続編というか、続きをどんどんやって頂けたらいいんじゃないかなって思いました。以上です。

一同: ありがとうございます。

玉野: 私仕事しながら聞いてたんですけど、一緒に、発音、発声しながら、イヤホンで聞きながら、仕事をしていて、周りが不思議そうに見てるっていう、風だったんですけど、なんか聞きやすくて、今までの中でも、楽しく、それこそ時間が早く過ぎたような。生元先生は近くに住んでいるんですけど、ちょくちょく家に行って、いろんな話を他にも聞きたいなあって、生元先生の三味線教室も休みがちなので、もうそろそろ行って先生と話さないとなあといいながら。美里集落とか三太郎峠を隔てると違うとか、島の人でも聞いていて、あ～！とか。新しく知る事が多くて面白いなあと思いました。後は、こう言う番組は、子供達とかに、先生呼んで勉強会とかできたら、おもしろそうかなあとか思いました。以上です。

一同:ありがとうございます。

和泉:私の方は、方言が地方によって言葉が変わるなっていうのが、沖縄まで飛んだりして、

生元先生がすごく方言について勉強されてるなあ、と感じました。やっぱり、方言って言うのが、間違っても使わないと、どんどん忘れていってしまうなあ、と言うのを感じて、でも今回の方式の、学校想定のやり方って言うのがすごく良くて。丸田さんが質問して、それに答えるって言う、テキパキとした感じで、何回もわからなかったら、聞くって言う形でやっていた姿がすごくよかったです。

方言を習いたての最初の人たちからしたらわかりやすいなあと感じました。同じ言葉でも地区によって言い回しの違いがあるねって、勉強になって、自分も方言は聞く事ばかりだったんだけど、恥ずかしがらずに、いろいろ話さないと話せなくなるねと言うのが、ありましたね。

まずは年配の方と話をした時に、方言で返す努力をする、そう言うことをしないと難しいなあと言うのがあって、そこをやってあげればいいと思う。私なんか普通の標準語で話す時より方言で喋る時の方が、相手がどんどん話してくるんですね。だから、生元先生なんかの話を聞きながら、コミュニケーションの一つのツールとして、啓発していけばいいのかなと思いました。ラジオの話を聴いてたら、すごく啓発にもなってるんじゃないのかなと思う。自分も2回聞いたんですけど、それも良くて、「アイエオ」の使わない音とかあるって言うのも聞いて、あー、こんなにすると方言綺麗に聞こえるね〜、と言うのが、わかってきました。それもシリーズ化してやっていけば、皆覚えて行くんじゃないのかなあと言う感じがしました。後、質問コーナーって言う形をとって、例えば先生に、こう言う感じの言葉は方言でどう言いますか?とか、そう言うのも設けたら、すごく面白いんじゃないかなあと感じがします。私の方からは以上です。

一同:ありがとうございます。

藤井:(メッセージ代読)

大変お世話になっております。番組審議委員長仰せつかっております、藤井です。

本日は仕様により、誠に残念ながら、欠席とさせていただきます。皆様ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。以下、散文中で申し訳ありませんが、一意見として、参考にして頂ければと思います。番組内容ですが、前回までの審議に引き続き、島口に関する内容と言うことで、大変勉強になる、素晴らしい番組企画と感じています。日々の生活の中で勉強の時間を決めたり、講座に申し込んだりと、いざ島口を学ぼうと思っても、継続するのは難しいかと思います。(島出身の方の環境はいかがでしょうか?)このように島口ネイティブの方を講師とした講座をラジオで聴けるのは、非常に有意義な事ではないでしょうか?その意味では、今年度の審議会を通しての提案ではあるのですが、アーカイブ化して、過去の収録内容を活かす方策を是非、検討して頂きたいと感じます。今回私たち委員会は自身の都合の良い時間に配布CDを繰り返し聞く事ができましたが、実際には放送を聞きたくても時間を調整できない方も少なからずいらっしゃるかもしれません。また、なかなか、盛りだくさんで楽しい内容でしたので、思い出すためには、繰り返し聞いてみたいと言う理由もあります。収録音源を、常時公開するまでせずとも、特に講義形式の番組については、テーマ事にリスト化して、ホームページ状でも公開しておくことは、あまみFMがいかに島の文化に貢献しているか、わかり易い例になると思います。放送後に一定期間たった音源については、要望を受けて配布する、あるいは局や、図書館などで視聴できるようにすると、社会的にも意義の高い事業となると感じます。スタッフの皆さんは日々大変お忙しい事とは思いますが、今後検討の余地はありますでしょうか?

本音源に対する具体的な感想ですが、とてもわかりやすく聞く事ができました。

私自身島に来て、2年目が終わろうとしています、少しずつ耳も慣れてきたのでしょうか、先生の説明も、順序立って、且つ楽しく説明しておられてますし、丸田さんの相槌も自然な流れで、現代語に言い換えたりと、解説の役割を、十二分にされていたように感じます。やはり、島らしく、時にゆるく楽しそうに話されていると言うところが、肝でしょうか。最後になります、この一年間皆様と支え合っこそ、審議委員長と言う、身の丈に合わない役割を勤めさせて頂く事ができました。普段お会いする事がない方々と、お話をさせて頂いた事で、己の未熟さを感じる、毎回でした。最後まで堅苦しく、まとまりのない意見で申し訳ありません。今後もあまみ FM が第一に楽しく、そして時々為になる番組を制作し続けてくださる事を願い、また私自身も奄美の島々が楽しく、美しく、癒される島であることを、私自身が置かれた立場から発信できるよう、頑張りたいと思います。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

一同:ありがとうございます。

徳山: 普段聞いている言葉を、改めて説明してもらえると、自分なんかも無意識に使ってた言葉もやっぱり、島口だったんだなあって思ったりして、ものすごい勉強になる、放送だと思いました。また、先生が宇検の方だった事もあるんですけど、だいたいの言葉はわかったんですけど、小さい「イ」を使ったり、普段全然気にせずに使ってたので、そう言った新たな発見もあったので、すごくよかったです。掛け合いとかも、面白おかしくて、そう言った放送とかも何度も聞いたりして、いい番組だと思います。以上です。

一同:ありがとうございます。

楠田: と、言う事で、丸田さん、非常にいい内容なので、続けていって、アーカイブ化して欲しいって言うのは、これまでも何度か皆さんから声は上がっていたので、是非積極的に続けていって頂ければ、嬉しいと思います。最後なので、スタッフの皆さんから一言づつ頂ければと思うのですが、この番組に関してでも、なんでも。

渡: 皆さんありがとうございました。一年間、皆さんからご意見頂きながら、普段自分なんかの事を客観的に見れないのもあって、自分ではいいと思ってやっている事が、皆さんにとってはどうなのかなって言うのが、すごくご意見が参考になってます。またこれからの番組作りにもそうやって、皆さんの意見を取り入れながら、いろんな方がどんな風にして、どんな環境で、どんな境遇で聞いてくださっているのかって言うのをやっていきたいなって、すごく思いましたので、またこれからもラジオお聞きの時に、あげ〜、なんとかじゃがな！とかありましたら、是非、ご指導よろしくお願ひします。本当に一年間ありがとうございました。

丸田: 私の方からなんです、島々に言葉が違うといこともありながら、あえて、いろんなご指摘があるだろうなって思いながら、私は笠利引きなんですけど、生元先生は宇検村、生勝ご出身なので、全然違う表現もありながら、それが教わっていると言う状況がいいものなのか不安でもあったんですけど、島唄の中で例えてくださって、表現して下さったり、今回は「いきゅんにゃかな」で皆さんご存知の曲だったと思うんですけど、これは4回ぐらい収録を重ねておまして、違う言葉もあるんですよ。その中で皆さんがご存じない島口も登場すると思うんですけど、島唄に触れられる、いきっかけになるんじゃないかと思ひまして、必ず島唄を一回つけてもらうように、テーマの発音を多用した唄をちょうどつけてもらうようにしてるんですけど、私が先生とお話している時にどうしても、引っ張られて、方言というか島口になってしまいがちなんですね。普通に喋っているつもりなんですけど、そこが言い直した方がいいのか、解説になっているのかと思う時もあるんですよ。皆さんは耳がいいので、わかると思うんですけど、先ほど楠田委員からもあったと思うんですけど、

Iターンの方はわからないだろうと思うんですけど、その辺がちょっと、今思う所です。

和泉:確かに、自分が話していて、標準語で話してるつもりが、方言が混じっていて自分では気づかないんですよね。

一同:うん。(賛同)

丸田:その辺が、皆さん、島の方にとっては聴きやすく感じると思うんですけど、島以外の人からしたら、耳障りに聞こえるかもなって思いますね。

和泉:沖縄の放送聞いていても、自分なんか全然わからないけど、沖縄の人はそれで全然通しているので、それで言ったら、私が一回内地の人を車に乗せて奄美FMかけたんですけど、逆に喜んでいましたけどね！いいねっち、こう言うのはあまりないよねっち、だから自然的な感じで、逆に通していいんじゃないかなって、逆にわからなかったら聞いて、それで質問が来たら逆に関心があるって事で、いいのかなって思いますけどね、硬く標準語に直すよりも自然で。皆、方言聞いて元気になったって言ってましたよ。良いと思います。

楠田:方言てやっぱ危機的な状況じゃないですか？自分たちも喋らないわけじゃないですか？そしたら自分の下の子たちも使わないわけだから、どんどんなくなっていくし。なんであまみFMさんにコテコテぐらいの島口を使ってもらって、それにひっぱってもらって、自分たちも感化されていけばいいんじゃないかと思います。

麓:放送ディ学！は3年前ぐらいの7周年の時に島島島一って感じで始まってきたんですけど、そろそろ深掘りという感じで、皆で勉強せんといかんなってコンセプトで、試行錯誤しながらやってきたんですけど、意外とリスナーさんからも評判がよく、いろんな機会を、回数を増やして、やっていけたらなって思っております。アーカイブの件もこの番組に限らず、リクエストも多くなってきましたので、ありがたい事に。年末年始に向けて、スタッフも増員できまして、10周年に向けて、こう言った事に対応できるようにしていけたらいいなって思っております。今思いついたんですけど、リスナーさんの意識が、私たちもなんですが「聞く」から「聴く」になっているなって、だんだん意識が高まってきているんだなって感じますね。すごく皆、島で生活する中で、島を意識するようになってきているんだなって嬉しく感じます。また、そこに合わせて、自分達も気の利いたことができるように努めていきますので、今日はこれでとりあえず番審最後になりますけど、引き続きリスナーとして色々ご意見があれば、遠慮なく厳しいご意見も含めて、くださればと思っております。色々ありがとうございました。

一同:ありがとうございます。

楠田:協議の方はこの辺でいいのかな？

和泉:島唄なんかもそう言う形でやっても逆に面白いのかなって思いますけどね、島唄を歌ってこれっちなんで言ってるの？っちわからないのを、それを先生なんかか歌って、こうやっち言ってるのよ。っち、三味線で「いきゅんにやかな」歌っている人は、説明しながら歌ってますよね？それっていいなっち思いました。

楠田:娘の莉子(シマ唄者)が小さいときは、小さい「あ」と「い」とか書いて、ここでこうやって発音するんだよって言うのを、一つの音の中にも前と後ろがあって、そこも発音しないといけないんだよって、

先生こうやって発音してるでしょって？って言っていましたね。

和泉:私も8月踊りのテロップをつける作業をやったんですけど、方言を言葉にして、字に書くの難しいんですよ！(笑)

麓 :うちの5歳の娘も先月から島唄歌うように習ってるんですけど、「みかんの花よ〜♪」って歌ってたら、娘が、「みかんぬ」！！(笑)

一同:笑い

楠田:ハルウヅが親戚ってラジオで初めて知りました。あー、そっかーって！

和泉:本当に今更聞けない島の恥ずかしさってあるよね？

和泉:確かにあるね、方言のことで、わからんのだけど〜っち思っても、聞いたら、「え？？そんなこともわからんわけ？」っちなるんじゃないかっち。

和泉:大人にもなってそう言うこと聞かれんよなっちあるよね。

麓 :そうそう！そうゆうのを代弁できるといいよね！自分たちが！知ってる風じゃなくてね。

和泉:方言でも丁寧な敬い方とかもあるじゃない？聞いたことないや〜っち思っても、「いや、昔からあるよ！」っちなって、それなんかも勉強になって。生元先生の話は聞きやすかったですね。「アイウエオ」の「オ」は使わないとかね。

渡 :公民館の講座でこれやっていて、それも一回取材に行って、取り上げさせてもらったんですけど、子供達の方がめっちゃ上手に喋るんですよ！その「ヌ」とかも上手で、実際に子供達はその講座を受けながら、大人達は言えないんですけど、子供達は早々と上手に喋っていて、それをラジオで流したんですけど、出前講座みたいに、丸田さんとか生元さんとか行って、そんな風に子供達の前でやるのもいいなっち、夢が膨らみましたね。島口が喋れたらかっこいいっち思うんですよ。

迫田:奄美が自然遺産に登録するときに、英語とかって使ったりするじゃないですか？それを逆に方言でやるのも面白いっち思いますよね。

和泉:面白いかもね！観光案内も島口でやるっち言うのもね！

渡 :シマユムタ伝える会っち言うのがあって、その中の保さんっち言う方は英語も喋れて、島口もベラベラで、この間の特別通訳士っち言うのも受かったんですけど、もしそう言うのがあったら自分がやりたいやーっち言っていましたね。島口と英語で案内するっち言うの。なんで、島らしさでいいですよ。

楠田:こんにちは禁止令とかどうですか、、(笑) うがみしょうらんどけみたいな。(笑)

一同:笑い

渡 :ファミマとかもいらっしやいませじゃなくて、「イモーレ」って言うのもいいですよ！「ありがさまりょーた」とか
言えばいいのにつち、いつも思います。皆マニュアルで、普段使わないぐらいの標準語使ったりして。

楠田:俺ね喋れないわけじゃないんだけど、島口を使うと、キャラが変わるっち言うか、ちょっと乱暴になるのよ。

丸田:わかります！！なるので生元先生と会話する時に、もう一回聞く時に、つい「なんち？」っち出るんですよ。

麓 :たまにひんにゃぶって聞こえるんですよ。

和泉:自分としては敬っているつもりなんですけど、出ちゃうんだよねー。

渡 :鈴木るり子姉も言っただけですけど、自分も昔、島口を話たての時は、ほんと同窓言葉で話していて、皆んなに
むる文句言われとっらしいんですよ。でもるり子姉が、姉ちゃんに言っただけ。
そんなにまで言わんでえ、そんなこと言ったら島口使えなくなるから、一度聞いてみとってっち、なんかあったら、
アドバイスしてっち言ったら、10年間黙とっただけ。そしたらるり子姉は今、上手に謙譲語とかも話せるようになって、
るり子姉でも10年かかったっち、言っていましたね。

和泉:老人ホームとか行けばやっぱ島口とか上手なのが聞けるかもね。

渡 :うまいですよー、施設の職員さん達みんな上手ですよ。
施設の方の職員さんとかの島口を聞いても面白いかもしれないですね。虹の丘とかも。

和泉:そうね。あちこちから来るわけだからね。

渡 :20代でも上手に話してますからね。

和泉:一回呼んだらどうですか？その施設の方とか。

渡 :たまにインタビューとかするんですけどね。大和村とかもうまいんじゃないですか？

迫田:今小さい子が島口を習っているって聞いたんですけど、
なんかそう言うのが仕事につながればいくなって感じますね。普通のガイドより上級とか。

一同:あー、ほんとですねー。

麓 :今、通訳さんとかでも、島口できないとっち言いますよね。大島紬の説明したりしないと行けないから、
英語喋れるだけじゃダメだって。

和泉:屋仁川のお店も島口だけにするとかね(笑)

一同:笑 スナックのママとか(笑)

楠田:そうすると、「きよらさと」と「きゅらさ」とかどうするんですかね？
ポスターとかどうするんだろうね、これから。考えていかないと。

渡 :まあでも違いは違いで言っていって、そういうものでっち。

和泉:でも空港とかでも面白いかもね、イモーレってなに？外国？っちなって。

迫田:グーグルの翻訳機とかあったりして(笑)

一同:笑 どんどん広がっていくね。

渡 :だけど、島口を楽しく使うっち言うのは、これから面白いかもですよ。

迫田:今、島唄から島口習う人が多いと思うんだけど、逆にこれから島口から島唄を習うって流れもあるんじゃないかなって思いますね。

渡 :「むい」はなんと言っても難しいですよ。

丸田:あれは、必ず発音を最初にやるんですけど、聞いている人がついついやってみたくなるようにしたいんですよ。
だから発音は必ず冒頭でやって。

渡 :私も車運転しながら一回聞いてって、すれ違う車の人が島口の発音をやってないかって、周りを見てましたね。
やってるっぽい人も見ましたけどね。やっぱり言いたくなりますよね。島人であれば。

迫田:そうゆう音源 CD にして、観光の車とかで流したら、地元の人と喋れるんですよ。若干。
それに声出せば、親しくなれそうで。ガイドしてる側と。

渡 :子供達が末広市場の駄菓子屋に買いに来るんですけど、絶対「うがみしょうらん」って言ってから入ってこいっち、
やってるんですけど、もう何年もやってるので、皆、「うがみしょうらん」っち言いますよ。

一同:笑い

麓 :お菓子買ってるのに、「ありがさまりよ一た」っち、言わず。(笑)

一同:笑い

渡 :でも小さい頃からやってるので、もう5年ぐらい言ってる子もいますけどね。意味がわからず、言ってる子もいて、
私のこと「あ！うがみしょうらんだ！」っち言う子もいますよ(笑)。私の名前っち思ってる。

一同:笑い 面白いね。

徳山:接客する時でも、集落でそれぞれ違うので、島口使うの、悩む時もありますけどねえ。

迫田:島口聞くだけで集落がわかったりしますよね。波が荒いところは、荒場っち言って声が大きくて、島口も荒いって。大和村の今里とか。実際、本当に風がビュービューで、これは声を大きくしないと、聞こえんやーっち。

渡 :気質なんでしょうね。やっぱり。言葉の特徴をまとめられたりしたら、面白いかもですね。ありがとうございます。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日
次回審議会までに改善に努める

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

① 自社放送:平成 29 年 3 月 18 日(土)6:00~放送

② 書面の備置き:平成 29 年 3 月 18 日(土)から、当該事項を記載した書面(議事録)を問う法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応

③ インターネット:平成 29 年 3 月 18 日(土)より当法人インターネットのホームページに転載

9 その他の参考事項 なし